

ひょうご・こうべ  
保健医療  
ハイスクールサミット

# 宣言

2016年8月21日 兵庫県神戸市

私たちは世界に影響を与えるために集まりました。

現在、世界には食育、セルフケア、薬剤耐性菌、下痢性疾患等感染症関連の問題、母子保健、高齢社会など様々な国際保健に関する問題があります。今まで、世界は様々な国際保健問題について議論し、対策を見つけてきました。私たち高校生は若さを活かして、大人たちの考えることのできない大胆かつ創造的な対策を見出し、提案することができます。また、これらの国際保健問題に直面する私たちだからこそ、未来への危機感を持つことができ、真剣に取り組むことができます。実際、私たちは高校生として今まで研究活動を通してこれらの問題に関わってきました。そうした活動を通して世界の人々、特に同世代の人々にこれらの問題を伝えるためにこの宣言を発表します。

我々の研究活動などを通じて、国際保健領域で多くの問題認識が浮き彫りになりました。

世界中でこれから蔓延していく生活習慣病は予防ができ、また、予防は全ての人々が取り組むべきこと。社会保障費と医療費が増加し、財政を圧迫しており、セルフケアの必要性が高まっているということ。薬剤耐性菌が広がることで治療が不可能な感染症が増え、世界に広がる危険性があるということ。下痢性疾患などの感染症は、今なお多くの子供たちが亡くなっているにも関わらず、人々が忘れかけている病気であるということ。身近な感染症に関する知識や危機感が欠如しているということ。母親が親の介護と子育てを同時にしなければならないダブルケアという問題があること。世界中で高齢化が進んでおり、日々問題が増えているということ。不十分な食育により健康の維持が難しくなること。



そこで、私たちができることを考えました。

私たちは現状の問題に関心を持ち、正確に調べ、課題や何をすべきかを知ることができます。そして、SNS等を活用して興味を持ってもらえるように正しい情報を発信することができます。さらに、学校行事などの機会を利用して、同世代の人々をはじめ、幅広い世代の人々に情報を共有できます。また、ポスターや絵本などの教材・啓発資料等を作って、国際協力を行っている機関・団体に協力することができます。

また、世界の人々に伝えたいこともあります。

このような国際保健問題の解決には、各国の協力が欠かせず、各国政府は国民の健康意識の向上のために改善策を実行し、必要とされている情報の提供や民間への資金の支援などを迅速かつ臨機応変に行う必要があります。しかし、政府に頼るだけではなく、私たち一人ひとりが健康に対する意識を向上し、そのために行動することの重要性を強調したいのです。

みなさん。たくさんの方が世界には存在しています。

それらによって苦しんでいる人たちがいます。また、これから苦しむ人もいるでしょう。もしかすると、これらの問題によって傷つけられ、苦しむ人があなたのお父さん、お母さん、おじいちゃん、おばあちゃん、兄弟、これから生まれてくる私たちの子供たち、友人あるいは恋人かもしれません。これらの問題は、他人事ではないのです。そして、そのような問題を放置しておいてはいけません。

グローバル社会において、次世代を担う私たち高校生にはそうした人々の苦痛の軽減に、社会の一員としての責任があります。私たちが積極的にこうした問題を解決へと近づけなければならないのです。前述のとおり、高校生の私たちでもできることは沢山あります。

そして私たちには人々を救うために今できることがあります。

まずは小さなことから。このサミットで感じたことを家族や友人に共有する、また、SNS等を利用して世界の人々へ共有する、地域社会に出て行って交流する、など。私たちのそうした小さな行動こそが世界中の人々に大きな影響を与える第一歩になると信じています。

このサミットを通し、私たちが次世代の担い手であると自覚し、小さいけれども確かな積み重ねによって、多くの人々が国際保健問題に関心を持ってくれるよう、私たちはこれからも多くを学び、努力を重ねていくことをここに宣言します。